

アカデミアの ほっと一息



～教授室だより～

【アカデミーへの派遣】

昨年4月に千葉市から市町村アカデミー（以下、当所）に派遣となつてから、早くも2年目を迎えました。その前年度は派遣直前まで千葉市での仕事に追われていたので、派遣されてすぐに「4月から気持ちをガラッと変えなければ」と思ったことを昨日のこのように思い出します。

また、過去に人材育成課に所属していたこともあり、当所の存在は知ってはいたのですが、恥ずかしながら、当所の研修を受講したことがなく、まさか、自分が派遣されるなどは全く思っておらず、「あっ、そう言えば、先輩が派遣されていたな」と思ったくらいでした。

ただ、私にとって当所の仕事は、（前職で講師経験があったこともあり）自らの特性に合い、派遣されるこの2年間はよい経験をさせてもらえるという期待感がありました。

【研修を通じて感じてほしいこと】

私はいつも、研修開始前のオリエンテーションで研修生にお話しています。

それは、普段の仕事から離れて自分を見直す大変よい機会なので、是非、「研修を楽しんでほしい」ということです。楽しむとは、楽だとか、ただ単に表面的な楽しさを言っているのではなく、研修を通じて、講師からだけではなく他自治体職員からも様々なことを吸収して、気持ちが充実することで、仕事が楽しいと思えるようなワクワクを感じてほしいということです。それを感じるため、当所では、情報・意見交換会や課題演習、課題解決フォーラムなど、他自治体の職員と交流できる様々な機会を設けており、それらを通じて「目から鱗」の体験が多くできると思います。

実際に、私が初めて担当した研修は「広報の効果的実践」でしたが、研修生の皆さんは、広報やシティプロモーション担当ということもあり（！？）、社会的でエネルギーにあふれ、積極的に研修プログラムに臨んでいました。そんな前向きな姿勢を目の当たりにして、私自身もまた、皆さんから元気もらい、研修担当として大変楽しく、ワクワクを感じることができました。

【アカデミーの仕事の魅力】

私たち職員は研修の企画や運営が主な仕事ですが、自分が過去に市役所で所属した部署以外の専門分野の担当になることもあるので、研修担当として様々な分野の講師、部署の自治体職員と交流し、意見交換などすることで、今後の自分の仕事の糧になるところが、当所の仕事の最大の魅力です。

どうしても、自分の所属自治体で仕事をしていると、（意識して他自治体との交流機会等をもたなければ）その自治体のことしか見えなくなってしまう傾向にあると思うので、その点、仕事として、様々な自治体等との交流ができることは、所属自治体に戻ってから、必ずプラスに活かせることだと思います。

【最後に～伝えたいこと】

私はいつも、閉講式を終えた研修生の皆さんに、所属に戻ってから、心に留めておいてほしいこととして、次の3つのことをお話ししています。

1つ目に「心身ともに健康であること」身体的な健康のみならず、メンタル的に健康であることは非常に重要です。ひとりで仕事を抱え込むなどして追い込まれることがないように、「できないことはできない」とはっきりと言って周りに助けを求めるなど、決して無理はしないでほしい。

2つ目に「所属でよい理解者を味方につけること」自所属でそのような人がいれば仕事も進めやすくなると思いますが、もし、自所属にいない場合には全庁でもいいので、自分を理解してくれる人を見つけ、積極的に交流を深め、仕事を進めやすい環境をつくってほしい。

最後3つ目は「自分の仕事に誇りをもつこと」自治体職員は住民の福祉増進や地域活性化などを図るために日々精進し励んでいるので、そのことを誇りに思いながら、決して驕ることなく、謙虚な気持ちをもって職務を全うしてほしい。

何だかまとまりのない文章になってしまいました（苦笑）、当所では私たち職員も日々楽しく職務に励みながら、自治体職員皆さんが「楽しかった」と思っていただけの研修を用意して、皆さんをお待ちしています。最後まで拙い文書をお読みいただき、ありがとうございました。皆さんの心に何か1つでも響くものがあれば幸いです。



＜アカデミア担当職員からひとこと＞

あつという間の1年でした。「広報の効果的実践」研修と一緒に担当したこと、とても懐かしく、よい思い出です。閉講式で研修生の皆さんへ伝えている3つのこと、私自身も心に留めたいと思います。残り1年間、一緒にがんばりましょう。